



一瞬で人生を狂わせる

NO MORE!

ノーマア
飲酒運転



沖 縄 県 警 察
公 益 財 団 法 人 沖 縄 県 交 通 安 全 協 会 連 合 会

NO MORE! 1

飲酒運転の罪は重い

1. 酒酔い運転は最高100万円の罰金!

酒酔い運転

5年以下の懲役
または
100万円以下の罰金



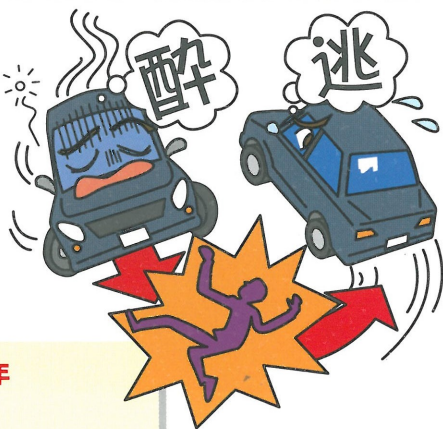
酒気帯び運転

3年以下の懲役
または
50万円以下の罰金

酒酔い運転：飲酒量に関係なくアルコールの影響で正常な運転ができない状態で車両を運転
酒気帯び運転：呼気1ℓ中0.15mg以上のアルコールを体内に保有した状態で車両を運転
欠格期間：運転免許取消後、再取得の受験が認められない期間

2. 「ひき逃げ」の罪を重ねると、併合罪で懲役最長15年!

飲酒運転事故を起こし、怖くなってひき逃げ事件に至るケースが多い。飲酒運転事故でひき逃げをすると併合罪が適用される場合があり、最長15年の懲役が科せられる。欠格期間も10年に!



飲酒運転事故 + ひき逃げ → 懲役 最長15年

行政処分

酒酔い運転 + 事故付加点数 + ひき逃げ → 免許取消し
(35点) (2~20点) (35点) (欠格期間10年)

3. 呼気検査を拒否したら最高50万円の罰金!



飲酒運転の取締りのときに行われる“呼気検査”を拒否・妨害すれば「3か月以下の懲役または50万円以下の罰金」になる。

4. 新法「自動車運転死傷行為処罰法」が施行され罰則を強化

新法「自動車運転死傷行為処罰法」が平成26年5月26日までに施行されることに伴い、刑法から「危険運転致死傷罪」（最長懲役20年）が新法に加えられるほか、事故後に逃走してアルコール等の濃度減少を図る行為を処罰する「過失運転致死傷アルコール等影響発覚免脱罪」が新設され、最長懲役12年!



飲酒運転による罰則・処分等

違反種別		罰則	違反点数	行政処分
酒酔い運転		5年以下の懲役または 100万円以下の罰金	35点	一発免許取消し 欠格期間3年
酒気帯び運転 (呼気1ℓ中の アルコール濃度)	0.25mg以上	3年以下の懲役または 50万円以下の罰金	25点	一発免許取消し 欠格期間2年
	0.15mg以上 0.25mg未満	同上	13点	免許停止 免停90日
飲酒検知拒否		3か月以下の懲役または 50万円以下の罰金	—	—
危険運転致死傷罪		死亡事故:最長20年の懲役 負傷事故:15年以下の懲役	45~62点	一発免許取消し 欠格期間5~8年
過失運転致死傷アルコール等 影響発覚免稅罪		12年以下の懲役	—	—

こんな判決が出た!

懲役23年

15時間にわたり酒を飲んで運転し、歩行者をはね対向車と衝突して3人を死亡させる事故を起こし、危険運転致死罪に問われていた男性に対し、検察は「事故2件」の併合罪として懲役30年を求刑し、裁判長は懲役23年を言い渡した。

(平成19年12月19日神戸地裁尼崎支部判決)

NO MORE! 2

飲ませた人、同乗した人も厳罰に

●クルマや酒を提供した場合も厳罰に！

飲酒運転によって罰せられるのはドライバー本人だけではない。

- 酒を飲んでいて運転するおそれがある者に車両を提供した者
- 車の運転をするおそれのある者に酒類を提供した者も、厳しく罰せられる。

■車両等の提供者の罰則

*提供を受けた者が酒酔い運転をした場合

5年以下の懲役または100万円以下の罰金

*提供を受けた者が酒気帯び運転をした場合

3年以下の懲役または50万円以下の罰金

■酒類の提供者の罰則

*提供を受けた者が酒酔い運転をした場合

3年以下の懲役または50万円以下の罰金

*提供を受けた者が酒気帯び運転をした場合

2年以下の懲役または30万円以下の罰金



●同乗しただけでも懲役・罰金が科される

飲酒運転だとわかっているのに、依頼・要求して同乗した者も罰せられる。

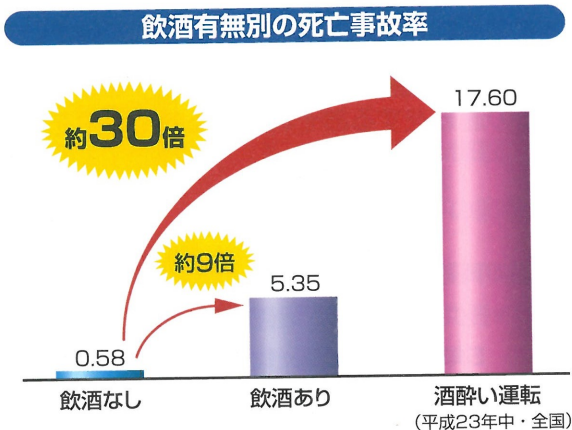
■酒酔い運転の車に同乗 **3年以下の懲役または50万円以下の罰金**

■酒気帯び運転の車に同乗 **2年以下の懲役または30万円以下の罰金**

NO MORE! 3 これだけ危険! 飲酒運転

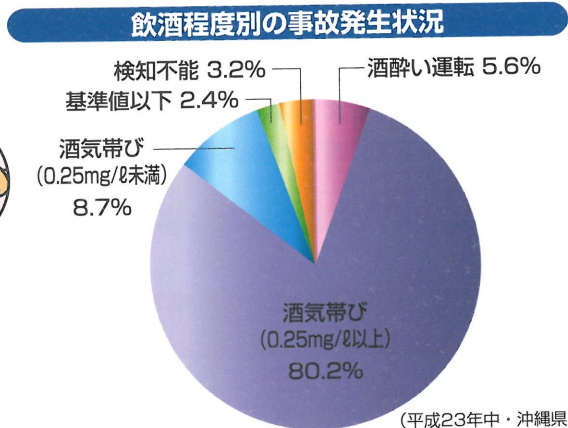
1. 酒酔い運転の死亡事故率はしらふの約30倍!

飲酒運転の死亡事故率は"飲酒なし"の約9倍、酒酔い運転に至っては約30倍も高い。まさに、飲酒運転は、"死への直行便"だ。



2. 酒気帯び運転が約9割を占める

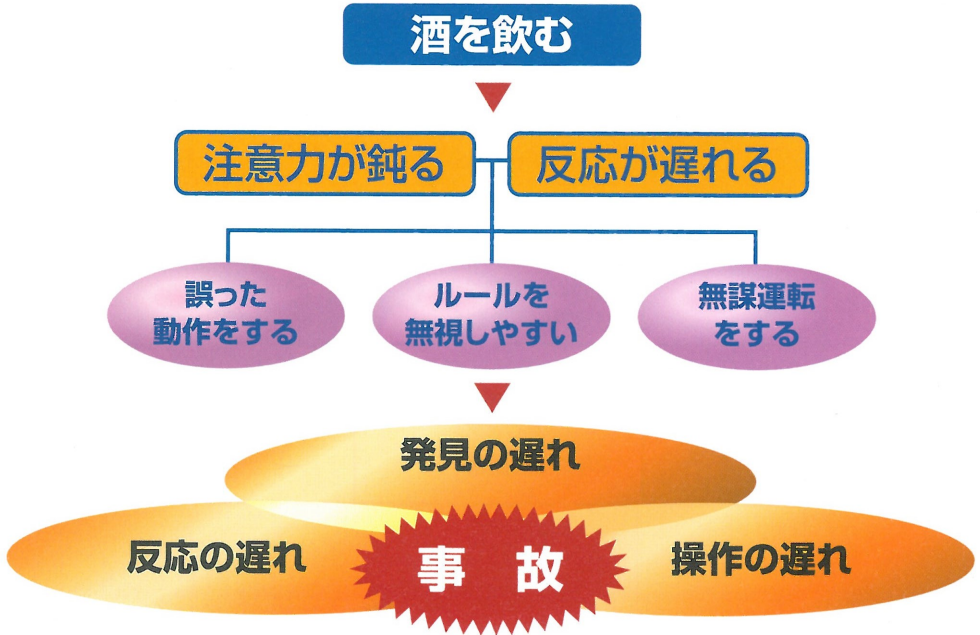
飲酒運転事故のうち0.25mg/ℓ以上の酒気帯びが約8割、0.25mg/ℓ未満の酒気帯びが1割弱を占めている。



3. 危険! 二日酔い運転

前夜に飲んだ酒が残ったまま運転しても飲酒運転。翌朝運転する予定がある場合は深酒厳禁! ちなみに、体重60キロの人が翌朝の7時に運転を始めるなら、缶ビール(500ml)2本を飲み終える時間は午後10時が限界といわれる。

4. こうして起こる飲酒運転事故



人生を狂わせる飲酒運転

飲酒運転で事故を起こすと「懲戒解雇」とする企業が多く、この場合退職金も出ないことから、「解雇→生活破綻→離婚による家庭崩壊」という不幸の連鎖が起こることもある。飲酒運転による代償はあまりにも大きい。



NO MORE! 4

アルコール等の知識

アルコールの与える影響

覚えてください **アルコール 1 単位 = 純アルコール 20g** を含む酒量


ビール 1 単位
▼
500ml
アルコール度 5%



日本酒 1 単位
▼
1 合 180ml
アルコール度 15%



ウイスキー 1 単位
▼
ダブル 1 杯 60ml
アルコール度 43%



ワイン 1 単位
▼
小グラス 2 杯 200ml
アルコール度 12%



チューハイ 1 単位
▼
350ml
アルコール度 7%

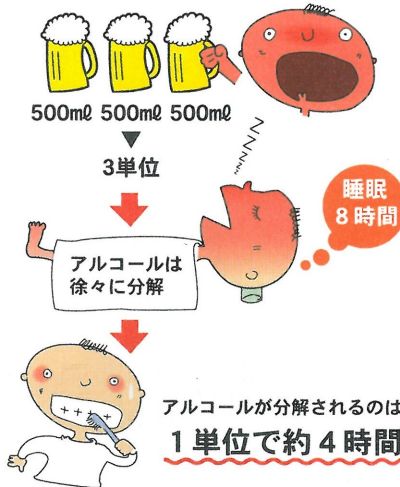


泡盛 1 単位
▼
100ml
アルコール度 25%



ここにあげたのは、純アルコール約 20 グラムを含む酒類です。これを「アルコールの 1 単位」と呼びます。泡盛やウイスキーなどアルコール濃度が高いものほど、量が少ないことがわかるでしょう。

***** アルコールの処理にかかる時間 *****



体内でのアルコールの処理は体重 1kg につき、1 時間で 0.1 グラムという速度です。たとえば体重 60 kg の人が 1 単位処理するには 3 ~ 4 時間かかります。体重 60 kg の人が飲酒して 8 時間後に勤務したとします。2 単位ならアルコールは検出されませんが、3 単位だと...? 検出されることになりませぬ。

これはあくまでも目安です。日頃飲みすぎがたまって肝臓が弱っていたり、風邪薬を飲んでいたりしたら、アルコールの処理はもっと時間がかかるかもしれません。

つまり、
3 単位 × 4 時間 = 12 時間
まだ体内には約 1 単位分のアルコールが残った状態なのです。

アルコールを分解する時間は、十分寝たから、ラーメンを食べたから、サウナで汗をかいたから、運動で汗をかいたから、ウツチン（ウコン）を飲んだから等で分解する時間は変わりません。